

# 三ツ星至高の投資信託

1万円程度で購入でき、世界中の資産に投資できる、投資信託。毎回異なるテーマで、三ツ星ファンドを1つ紹介。味わい深く、栄誉満点のファンドを召し上げられ！  
構成／鈴木弥生 取材文／高橋明夫 イラスト／S.M.O



今月のテーマ

## 運用会社が直接販売する投資信託

金融機関の子会社ではない独立系の運用会社が、販売会社を介さずに販売する直販投信。積立購入する人が多く、資産形成のパートナーとして支持する人が増えています



**調査員**  
**ライター高橋**  
あるじゃん創刊後からファンドを取材。資産形成には投信が最適。アクティブ運用のファンドにもいいものはある、と確信している



注目

## コモンズ30ファンド

運用会社／コモンズ投信

成長が期待できる銘柄を厳選して投資する、積極的な運用。30銘柄程度に絞る集中投資は本格的なアクティブ運用で、直販投信の中でも個性派といえます

30年目線で30銘柄  
尊敬できる企業に投資

長期での資産形成をめざして日本株に投資する、アクティブ運用のファンドです。

特徴は、30年目線で、30銘柄を目安に投資すること。

「短期的な業績で判断するのではなく、数十年のタイムで利益を生み続け、企業価値を高めていける会社に投資します」（渋澤さん）

澤さん）。社会環境変化への適応力や経営力、国際競争力、ブランド力、収益力があること。

株主や顧客、従業員との対話を重視しているなど、尊敬できる企業であることも重視します。

「着実に利益成長できる企業は限られており、多くの企業に投資するより、厳選し、密に付き合う方が効果的と考えられる」

と、渋澤さん。投資先企業、運用会社、投資家が相互に対話し、

互いに成長し合える関係をめざします。長期投資が前提ですが、持ち切りではなく、対話を通じて確信が失せた場合には売却など、「バイ（買う）&メンテナン

ス」（渋澤さん）の方針です。「ファンドで好実績を得るには、運用者の能力、投資環境のほか、投資家の「結果を急がないお金」

が必要です」（渋澤さん）。

本気で資産形成を考えるなら、候補にしたいファンドです。

この人に聞きました

コモンズ投信 会長  
**渋澤 健さん**

外資系証券会社、ヘッジファンドなどを経て、08年にコモンズ投信を立ち上げ、明治の実業家、渋沢栄一氏の子孫。「渋澤流30年長期投資のすすめ」など、著書多数



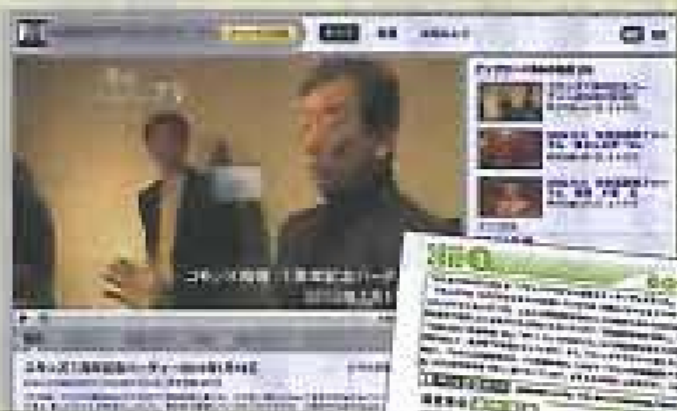
コモンズ30ファンドの特徴

1. 30年目線の超長期投資
2. 30銘柄程度への厳選投資
3. 「投資家」「投資先企業」「コモンズ投信」相互の対話を重視



投資家、投資先企業、運用会社。セミナーで三者の対話を重視

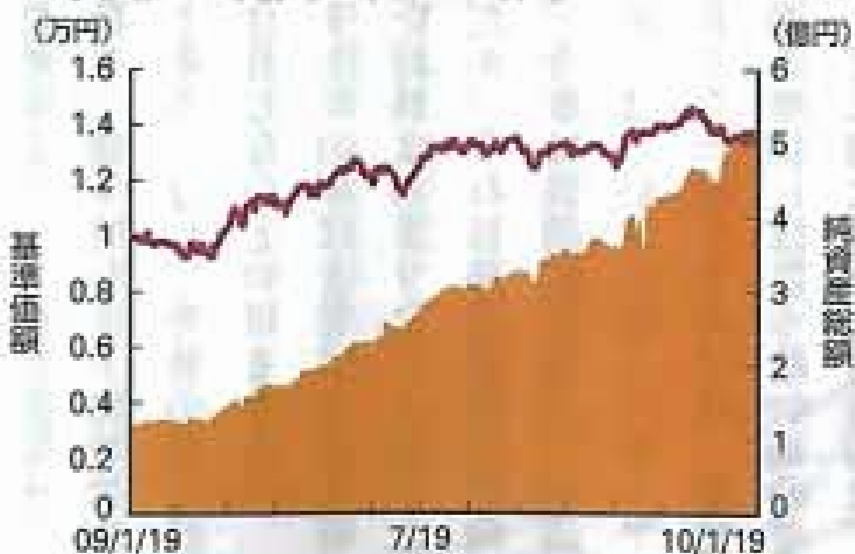
「ファンドマネージャーと語ろう」「はじめてのコモンズ」など、毎月数本のセミナーを開催。「投資先企業との対話」では、企業の担当者からの説明、運用会社から投資理由などが話されるほか、質問も可能。



一部セミナーの内容はYouTubeでも配信。月次レポートには投資先企業の紹介など、充実



基準価額と純資産総額の推移



DATA	
信託期間	2009年1月19日～無期限
基準価額	1万4377円
騰落率	3カ月/4.92% 6カ月/11.27% 1年/41.05%
純資産総額	6億1892万円
販売手数料	なし
信託報酬	1.2075% (純資産総額300億円超からは段階的に低下)
積立購入	月額3000円以上1円単位

※騰落率は3月末時点。基準価額や純資産総額などのデータは4月21日時点